

挑戦者 - 番外編 1 -

Interview

福島スターズ (古希野球)

Profile 中田 耕二さん (70)

昭和 27 年 5 月 30 日、郡山市生まれ、常葉町在住。小学 4 年生から野球を始める。現在は、郡山オールドボーイズ (還暦野球)、福島スターズ (古希野球) に所属。ポジションは中堅手、三塁手、投手など。憧れの野球選手は長嶋茂雄。



10 月 28 日、11 月 1 日に「全日本古希軟式野球大会」が大分県で開かれ、田村市から中田耕二さん (常葉町在住 / 福島スターズ所属) が参加し、チームはベスト 16 進出を果たしました。大会に出場した感想や、長きにわたり野球を続けている思いなどを伺いました。

「全日本古希軟式野球大会出場！」
これまでも、これからも。生涯現役



全国大会は地方大会の雰囲気と違い、相手の状況が分からない場合が多いのでとても楽しいですね。今大会はベスト 16 に進出しましたが、準備優勝したチームに負けてしまいました。実力は大きな差はないように思いますが、チャンスの時に打てたか打てなかったかの差で負けてしまいました。大会後には、メンバーで開催地を観光するのも醍醐味の一つです。

これまでの大会で一番印象に残っているのは、第 16 回全日本選抜還暦軟式野球大会 (平成 26 年 9 月開催) で準備優勝したこと。監督がメンバーをしつかりまとめ、とてもまとまりのあるいいチームでしたが、正直、そこまで勝ち上がれると思っていませんでした。7 点差を逆転勝利し、決勝進出した試合は今でも印象深く残っています。

野球を続けて約 60 年。振り返ると野球ばかりの人生でした。家族も諦めていますね (笑)。子どもの運動会よりも「野球」なんてこともありません。野球をやっているからこそ働かなくていいから仕事も頑張っていました。野球を続けてきて良かったことは、健康です。好きな野球を続けられているということ。野球が本当に大好きです。

また、野球から学んだことは、健康維持が大事だということ。野球をやるためには健康でいなければならぬです。食べ物も好き嫌いなくなく、飲みます (木曜日は休肝日)。女房がいろいろと考えてくれて、感謝しています。幸いにも病気という病気をせずにここまでやってきました。今でも家に入る前には、必ず素振りを行います。回数は決めていないですが、その日の調子に合わせてやっています。



大好きな野球をともに打ち込む福島スターズの仲間と

ケガをしないで、好きなことを続けること。なんでもいから自分が好きだと思っただけは続けてみてほしい。例えば試合に出られなかったり、レギュラーになれなかったりしても、続けていくことが大事だと思う。いつ花開くかは分かりませんが、また、大人になってからの競技の楽しみ方は変化していきます。一緒に活動する人の年齢層も変わるし、そのなかの関りで勉強になることはたくさんあると思います。

若い世代に向けて